

令和3年度
幼保小連携推進
地区活動報告
倉田地区



幼保小連携推進地区

倉田小の紹介（令和3年度）

学校名 横浜市立倉田小学校

創 立 昭和63年4月

所在地 横浜市戸塚区上倉田町1426-6

校 長 末松 隆一郎

副校長 佐藤 直子

学級数 18クラス

児童数 454人



学校教育目標

つながり いきいき
倉田っ子

子どもに身に付けてほしい力を5つの視点で表し、相互に関連付けながら、主体的・対話的にいきいきと学ぶ子どもを育てています。



学校教育目標

つながり いきいき 倉田っ子

【知】自ら問題を見つけ、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、粘り強く解決する子を育てます

【徳】豊かなかかわりを通して、学校や社会のきまりを守り、自分も友だちも大切にする子を育てます

【体】心や体の健康に関心を持ち、しなやかでたくましい心と体をつくろうとする子を育てます

学校教育目標

つながり いきいき 倉田っ子

【公】倉田のまちや社会に学び、夢や目標をもって、自分の役割を考え行動する子を育てます

【開】多様性を受け入れ、新しい価値を創造し、持続可能な社会の実現に向けて行動する子を育てます

交流園

すみれ幼稚園

～たくましい体、広い社会性、
豊かな創造力～

のびのびと、大きくたくましく育ってほしい。無限に広がる可能性の芽を伸ばしていったほしい。幼児期は、子どもたちの「育ち」の第一歩です。子どもたちが、自分で考え築いていく、「遊び」の世界には育ちのための栄養がいっぱい。感性豊かな幼児期にはたくさんの遊びを体験してほしい。おおぜいの友だちと遊びを楽しみながら社会性、思いやりや優しい心を育みます。夢中になって自ら取り組もうとする気持ちは、自信・意欲や創造力につながります。



戸塚区 倉田小地区 推進テーマ

つながり いきいき 幼保小連携

～育ちと学びをつなぐための協同的な活動の在り方～

幼保小連携における育てたい子ども像

◆学習や遊びに興味・関心を持ち、いきいきと取り組む子ども

◆安心して自分を発揮できる子ども

◆新しい環境や生活習慣、活動のルールを受け入れ、みんなと楽しく過ごせる子ども

倉田小の置かれていた状況

分散登校

- ・分散登校期間中は、学級を2グループに分け、日にちや時間帯を変えて登校した
- ・登校していないグループは、各家庭で課題や映像教材による学習を進めた

3密の徹底

- ・ソーシャルディスタンスの確保のために、机の配置を工夫や、声かけを徹底した
- ・発表形式やグループ活動、歌唱等の授業を中止した

発表や交流の制限

- ・感染予防の観点から、声を出す向きに気を付けた発表
- ・幼稚園交流の中止

スタートカリキュラム



なかよしタイム

- ・1年担任、図書館司書、専任、調理員など学校職員みんなで、児童をサポート。安心感、対人関係を深め、倉田っ子として所属意識をもたせた
 <活動例>読み聞かせ、手遊び、私は誰でしょう

わくわくタイム

- ・主体的にいきいきと学ぶために、生活科を中心とした体験活動から、学習意欲を高めた
 <活動例>わくわく学校探検、春となかよし

ぐんぐんタイム

- ・学習活動や生活の中で示した子どもの興味・関心から、教科等の学びや見方・考え方を身に付けた
 <活動例>本に親しもう、ひらがなとなかよし

6年生との交流

どうぞよろしく
 学校のこと教えるね
 わくわく秋ランド
 どんぐりまつり
 などなど



どうぞよろしく

学校のこと教えるね

6年生との交流

どうぞよろしく集会
 牛乳パック開き
 わくわく秋ランド
 にこにこ秋祭り
 などなど

わくわく秋ランド



6年生との交流

どうぞよろしく集会
牛乳パック開き
にこにこ夏祭り
どんぐりまつり
などなど



どんぐりまつり

2年生との交流

舞岡遠足
学校探検
音読発表会
などなど



まいおかえんそく

おんどくはっぴょうかい

がっこうたんけん

幼稚園との交流

幼稚園生向けの
学校紹介動画を作成

iPad を使って、
動画を作成中！

近隣の幼保園に
紹介予定

学校紹介動画



としょかんは
しほんをかりる
ことができます。

おいしいきゅうしょく

じそ
かう
じんの

さんすうのじかん

1
2
3

令和3年度の成果と課題

【成果】

スタートアップカリキュラム

・昨年度は、4・5月休校のため、スタートカリの実施期間が短かったが、今年度は、入学時から夏休み前までかけて教科横断的な活動をより多く行うことができた。そのため、児童も安心して小学校生活への移行がスムーズに行えた。

異学年交流

・昨年度の幼稚園児へのパンフレット作りや、6年生との交流の経験から、現2年生が1年生に対しての学校案内や音読発表会を行うなど、経験を生かした活動が行えた。
・現1年生は他学年との交流を通して、年長者へあこがれをもち、来年の入学児童に対しても、自分たちがしてあげられることを考え、行動しはじめている。

幼稚園交流

・学校紹介動画作りから小学校での学習や生活を振り返り、自分の成長をあらためて気づくことができています。
・昨年度はできなかった職員間交流を実施し、小学校・幼稚園の子どもの実態や、教育活動についての共通理解を図れた。

令和3年度の成果と課題

【課題】

スタートアップカリキュラム

- ・アプローチカリキュラムを継続しながらの教科指導と3観点による評価の一体化が難しかった。→来年度に向けて、スタートカリキュラムに対応した評価を構築中である。

異学年交流

- ・様々な行事等がある中での、異学年交流の時間の確保をするため、年間を見通したカリキュラムマネジメントを作成・実施しなければならない。

幼稚園交流

- ・コロナ禍での、対面による交流が不可能である。2年連続で直接の交流がもてていないため、次年度への積み上げが難しい。状況も考慮して可能な時期に実施していくようにする。